

新型コロナウイルス感染症患者（13例目）の発生について（第1報）

令和2年4月7日（火）、広島市衛生研究所におけるPCR検査により、4月1日（水）に確認された本市5例目の患者の濃厚接触者の1人が、新型コロナウイルス感染症の患者であることが確認された。

1 患者概要

- （1）性別：男性
- （2）居住地：広島市
- （3）職業：自営業
- （4）症状：発熱（現在、症状なし）

2 検査に至った経緯

- 3月27日（金） 本市5例目の患者と車内で15分程度会話
- 4月1日（水） 37.7℃の発熱。A医療機関を受診後、B薬局で解熱剤を処方
夜間に38.4℃
- 4月2日（木） 本市5例目の患者の濃厚接触者と判明。その時点では、解熱。
以降は症状なし
- 4月7日（火） 本人からの同意が取れ、保健センターが検体を採取
PCR検査の結果、新型コロナウイルス陽性と判明
- 4月8日（水） 感染症指定医療機関に入院（体温36.0℃）

※本人からの申告によれば、発症前14日以内に渡航歴はなく、発症後はマスクを着用していた。

3 今後の対応

- ・現在までに確認できた患者の行動歴をもとに、濃厚接触者あるいはその可能性のある者に対し、患者との接触状況や健康状態についての把握など、逐次、積極的疫学調査を実施しているところである。
- ・更に患者の詳細な行動歴の確認を行った上で積極的疫学調査を行い、その結果をもとに、当該濃厚接触者に対する、健康観察（毎日の体温確認等）と、必要に応じてPCR検査を適切に実施することとしている。
- ・この調査により把握した感染拡大防止のために必要な情報は、速やかに市民に広く提供することとしている。